

将来像 1（重点 6）

他自治体との連携の推進

令和３年６月３０日（水）
企画部企画政策課

他自治体との連携の推進

概要

- 各分野で他自治体との連携体制を構築する。

狙いとしている効果

- 各分野で連携することにより、業務の効率化を図るとともに業務の対応力を強化する。

これまでの実施内容

- 276事業の連携体制を構築した。

取組予定・目標

- より多くの事業で連携体制構築を進め、業務の一層の効率化等を目指す。

他自治体との連携の推進

【東三河地域公共交通活性化協議会】

設立：令和2年4月3日

会員：豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村

<従来>

東三河8市町村はこれまで「夏休み小学生50円バス」の周知を一体となって行うことで、地域間幹線系統を軸にした路線バスやコミュニティバスの利用促進を図ってきた。



<設立により>

東三河地域にはバスだけではなく、JR在来線や豊橋鉄道などの鉄道事業や山間部を中心に自家用有償運送事業を必要とする地域があるなど、多様な公共交通が存在している。そこで、この地域がこれまで以上に一体となって、多様な公共交通の利便性の向上や利用促進を図り、地域住民がより便利で快適に移動ができる環境を作り上げる。

他自治体との連携の推進

【東三河地域公共交通活性化協議会】

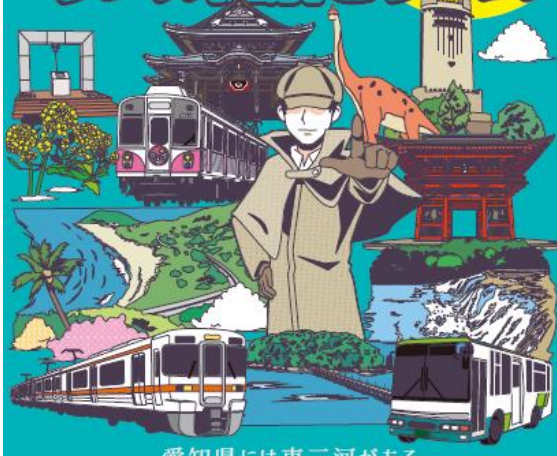
公共交通の利用促進に向けた具体的取組 <東三河リアル謎解きゲーム>

東三河

リアル謎解きゲーム

誰でも参加OK

参加費無料



愛知県には東三河がある

魅力いっぱいの地で謎解きだ！

開催期間

2020

9/19

▶

2020

11/30

筆記用具を
ご持参ください

このイベントは東海道本線や新田辺などの電車やバスを挟んで移動し、謎を解き明かすゲームです。

謎解きに必要な交通費は参加者のご負担になります。

この東三河地区には、おいしい食べ物や、自慢できる場所がたくさんあります！

皆さんはこの地域の電車やバスに乗って、利用されたヒントをもとに、おいしい食べ物や場所を解き明かし報告してほしい。



どの謎が解けるかな？

電車などの、QRコードから得られるものでQRコードを読み込める端末（スマートフォン）が必要です。

初級編

3つのヒントから「おいしい食べ物」を解け！

上級編

駅に用意されたヒントから「自慢できる場所」を解け！

初級編

電車で各駅に1つずつ用意されているヒントをもとに「おいしい食べ物」を解き明かし、説明用紙に答えを書いて報告してほしい！！

＜注意＞
ただし、条件がある！！

初級編は2つのコースが設定されているのでどちらかのコースを選んでから報告書いてほしい（両方のコースは参加できません）

ヒントが用意してある場所

【東海道本線コース】

ヒントA JR蒲郡駅
改札外にあるポスターを探そう

ヒントB JR豊橋駅
改札外にある情報ラザ
（豊橋駅北駅案内所）を探そう

ヒントC JR川崎駅
改札外にあるポスターを探そう

【飯田線・渚美線コース】

ヒントD JR豊橋駅
改札外にある情報ラザ
（豊橋駅北駅案内所）を探そう

ヒントE JR豊川駅
改札外にあるポスターを探そう

ヒントF JR新城駅
改札外にあるポスターを探そう
豊鉄三河田原駅
駅改札内にあるポスターを探そう

※JR新城駅と豊鉄三河田原駅にある初級編のヒントは同じ内容です。

[illegible]

他自治体との連携の推進

【東三河地域公共交通活性化協議会】

公共交通の利用促進に向けた具体的取組 <東三河リアル謎解きゲーム>

取組の成果

公共交通の利用について、他自治体との連携により、広域のスケールメリットを生かして、より多くの子どもや大人へ情報発信し、利用を促すことができた。

新しい生活様式に合致したバス、鉄道利用マナーの周知ができた。

子どもがバス、電車の利用の仕方を体験することができた。

他自治体との連携の推進

【東三河ドローン・リバー構想推進協議会】

設立: 令和2年8月1日

会員: 豊川市、新城市、協議会の目的に賛同する事業所又は団体

<概要>

経済活動を支える多様な団体と行政が官民一体となって、ドローン・エアモビリティに関する新産業の集積に取り組むことで、地域経済の活性化と地域課題の解決に取り組むもの

<背景>

地域特性

・ものづくりが盛ん ・ICなど交通結節点を含む ・都市部、河川、内湾等がコンパクトに集約

地域課題

・人口減少 ・南海トラフ地震の大規模災害が想定

他自治体との連携の推進

【東三河ドローン・リバー構想推進協議会】



設立総会(令和2年8月1日)



第2回総会(令和3年3月29日)

他自治体との連携の推進

【東三河ドローン・リバー構想推進協議会】 取組の成果

会員（40社・団体）、協力会員（16社）による協力体制を構築した。

山村部過疎地域での災害時における避難所間の物資輸送実証実験を実施した。

農業分野、インフラ点検等に係る作業の省力化に関する検討を行った。

ドローン・エアモビリティを活用した災害時の初動体制に関する検討を行った。